

山中造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 昭和26年創業。内航の貨物船、セメント船、コンテナ船を中心に、荷主や海運事業者のニーズに的確に応える船を建造。
- 鋼板の輸送ニーズと省エネ性能を両立すべく開発し特許を取得した499トン型貨物船の「エラ船型」は、累計建造実績が100隻を超え、鋼材を主な積み荷とする貨物船の標準船型となっている。
- 平成26年2月に、作業効率向上及び騒音対策のため、移動屋根付きドックを備えた新工場を建設し、移転。



計画の概要

- 内航海運業界のカーボンニュートラルや働き方改革への要請の高まりを背景に、更なる省エネ改良、電動化等による船員労働環境の改善が図られた新たなコンセプトの船が求められており、そうした顧客ニーズに対応した次世代型省エネ・高機能船を開発する。
- 新たな船の開発～生産までを効率化するため、デジタル化を進め、タブレット導入等により工場や船内工事での図面等の情報共有の効率化、作業の標準化、進捗の可視化を推進する。

<計画実施期間> 2022年12月～2027年11月

<実施場所> 山中造船(株) 本社(愛媛県今治市)

CO₂削減と船員負荷低減を両立する 次世代小型内航貨物船

